

インフルエンザ



1. インフルエンザウイルスの感染によって起こる病気です。
2. A香港、A2009pdm(新型)、B型の3種類のウイルスが流行します。
3. 1～2日の潜伏期の後、急な高熱、倦怠感で発症します。咳・鼻汁、胃腸症状も伴い、1週間程度で軽快します。
4. 普通のかぜよりも症状が重く、肺炎・中耳炎を起こすことがあります。乳幼児では熱性けいれんや、まれに脳炎・脳症を合併することがあります。
5. 鼻の奥を綿棒でぬぐう迅速検査で10～15分で診断することができます。発熱直後では検出できないことがあります。しかしグツタリとして苦痛が強いようなら、早めに受診してください。
6. 抗インフルエンザ薬が使用できます。無治療に比べて早く解熱します。
タミフル(内服:粉、カプセル)、リレンザ(吸入:5日間)、イナビル(吸入:1日)の3種類あります。
7. 子供は、インフルエンザの高熱時に異常な行動をすることがあります。抗インフルエンザ薬の使用・未使用や種類によって、異常行動の頻度には変わりはありませんが、念のため10歳代には内服のタミフルは使用しないことになっています。高熱のある1～2日間は、子供から目を離さないようにしましょう。
8. 出席定期期間について。
小学校以上 :発症後5日間、かつ解熱後2日を経過するまで。
幼稚園児以下:発症後5日間、かつ解熱後3日を経過するまで。
9. 予防接種で、ある程度の予防効果、重症化を防ぐことが期待できます。
生後6ヵ月から接種できます。
毎年12月頃までに2回接種します(13歳以上は1回)。



ハビネス こども クリニック

お問い合わせは…

087-848-9178

